

# 研究部だより

平成 29 年 11 月 30 日 (木) NO. 5

今回の研究部だよりは…

## 道徳科における「指導要録」と「通信票」の評価について …です

### 特別の教科 道徳

	学習状況及び道徳科に係る成長の様子
1	
2	
3	
4	
5	
6	

昨年 7 月の文科省通知 28 文科初第 604 号によれば、現在の指導要録の書式における「総合的な学習の時間」、「特別活動の記録」、「行動の記録」及び「総合所見及び指導上参考となる諸事項」などの既存の欄を含めてその在り方を総合的に見直し、左記のような欄を暫定的に設けることとなりました。この欄には、学習状況及び道徳性に係る成長の様子について、文章で記述することとなります。また、上記の「総合所見及び指導上参考となる諸事項」や「各教科の評定」などとは基本的に性格が異なるものであり、調査書には記

載せず、入学者選抜の合否判定には活用しないこととなっています。なお、正確には、新学習指導要領に続いて、今後文部科学省から出される「学習評価及び指導要録の改善等について（通知）」によることとなっています。その一方で、通知表の道徳科の評価には規定がなく、作成の有無を含めて様式や内容は学校の判断によります。（従って、通知表に道徳科の評価を入れないこともあり得ます…。）次年度以降、通信票に道徳科の評価を入れる場合にも、指導要録と同様に子供の成長を積極的に受け止めて認め、励ます個人内評価で文章を記述することになります。具体的にどのようにしていくのか、見直しを持っておきたいと思えます。

そこで、これまでの 2 年 2 組と 4 年 2 組の「道徳ノート」から、下記の 3 人の子供の例をもとに『指導要録に記述する所見例』を考えてみたいと思えます。（※この中には『課題』があります。それは何だと思えますか。一緒に考えてみましょう。）

#### 【2 年 2 組】

資料名【内容項目】	【E.H児】の道徳ノート（ワークシート）
うみがめの赤ちゃん 【生命の尊重】	○お母さんが君たちを産んでくれたんだよ。お母さんが頑張って産んでくれたんだよ。お母さんのように大人になるんだよ。
がんばれアヌーラ 【生命の尊重】	○アヌーラ、ガチャコとタカコ（※象さん）が支えてくれたから元気になったんだよ。ガチャコとタカコは仲間だから、これからも仲間を大切にしていね。
ナイチンゲール 【生命の尊重】	○フローレンスは優しいね。一人一人の命を大切にしているね。でも、ご飯も食べないし、夜も眠らないから心配だよ。

『所見例』 ○資料に登場する人物や動物たちとの対話を通して、命のつながりや仲間の大切さを捉えたり、一生懸命生きようとする生命の健気さや尊さについて考えを深めたりする姿が見られた。  
○資料の中で登場人物と心の中で対話したり自分を重ね合わせたりしながら、人をはじめ生命ある全てのものをかけがえのないものとして尊重し、大切にすることが重要であることを理解した。

※もう気付きましたね。実は、このままだとすると【生命の尊重】という個々の内容項目のみの評価になり「大きくくりなまとまりを踏まえた評価」にはなりません…。でも、肯定的にこの所見を見れば、【生命の尊重】という道徳的価値の理解を 1 学期という「一定のまとまり」の中で評価した結果、自分との関わりの中で深めている記述とも捉えられます。（一面的な見方から多面的・多角的な見方へと発展していると見取った結果とも考えられます。）

この子供の道徳性に係る成長の様子を適切な文章で表現するには、…。先生方は、これらの所見例を読んでみて、どう感じましたか。

それでは、次の所見例はどうでしょうか。

【4年2組】

資料名	【内容項目】	【H・U児】のノート（学習感想）
目覚まし時計	自立, 思慮, 節度ある生活	○自分にできなさそうな目標を立ててしまう。できそうな目標を立てて、目標をやめないようにしたい。
100万回生きたねこ	生命尊重	○これから、人生を楽しくまんぞくがいっぱいあり、くいのない毎日を送っていきたい。
親切のつもりだったのに	思いやり, 親切	○相手の気持ちを考えて、しっかりと親切心を持って押しうりをしないように気を付けたい。
生きる意味	生命尊重	○わたしは、今回考えたことや麦の穂の星野さんの詩みたいにどういふことがあっても、そういうふうがいい方に考えるといいんだなあと思いました。

『**所見例**』○目標を達成するためには、過度に高い目標ではなく、自分に合った目標を設定するとよいことに気付いたり、親切というのは相手の気持ちを考える必要があることを理解したりした。

資料名	【内容項目】	【K・R児】のノート（学習感想）
目覚まし時計	自立, 思慮, 節度ある生活	○めあてをやめてしまうのは、くせになってしまっているの、気持ちをおさえることが大切なんだと思います。
100万回生きたねこ	生命尊重	○人生を大切に、大切な物を守って生きていきたいです。人生は長いと思っても短い物と思ったからです。1日1日を大切にしたいと思いました。
親切のつもりだったのに	思いやり, 親切	○親切をおしつけないで、ふわふわ言葉を使いたいです。
生きる意味	生命尊重	○私は、この勉強をして、たとえけがをして体のどこかが動かなくても死にたいと思わないで自分でできることを考え好きにやることと、決して何もできないと思わなくて良いことが知れました。

『**所見例**』○めあてを達成するには、怠けたいという気持ちを押さえることが大切であると捉えたり、どんな人にも生きる意味があると考え、1日1日を大切に過ごすことに価値を見出したりした。

※内容項目も個々のものではなく、【生命尊重】を中心に据えながら、「大きくりなまとまりを踏まえた評価」となっています。敢えて課題を挙げるとすれば、自分と違う意見を理解しようとしている（複数の道徳的価値の対立する場面を多面的・多角的に考えよとしている）『他者理解』の視点や道徳的価値を実現することの難しさを自分事として捉えている『人間理解』の視点が、これらの記述に明確に入ると、よりよい所見になるのだと考えます。以下、今後の指導（評価）の際の参考にしてください。

### 道徳科の評価の工夫に関する例（専門家会議における意見より）

- 子供の学習状況の過程や成果などの記録を計画的にファイル等に蓄積して学習状況を把握すること。
- 記録したファイルを活用して、子供や保護者に対し、その成長の過程や到達点、今後の課題を記して伝えること  
**※上述の通信票の代わりとなる「ヒント」がここにあるのかもしれませんが。**
- 授業時間に発話される記録や記述などを、子供が道徳性を発展させていく過程での子供自身のエピソード（挿話）として集積し、評価に活用すること。
- 作文やレポート、スピーチやプレゼンテーション、協働での問題解決といった実演の過程を通じて学習状況や成長の様子を把握すること。
- 1回1回の授業の中で変容を見取ろうとすることは困難であるため、年間35時間という長い期間の中で子供の変容を見取することを心掛けること。

…等  
（文責：佐々木）